

新たな出雲市総合振興計画(素案)へのご意見(パブリックコメント)一覧

| 意見番号 | 区分 | 項目 | 小項目 | 項目番号 | 意見内容 | 市の考え方 |
|------|------|---------------|-----------|------|--|--|
| 1 | パプコメ | I. 総合振興計画について | 策定の趣旨 | 1 | 「これまでの社会資本整備を中心とした路線を転換」とは、これまでとどう変わるのか。 | 安全安心社会の実現、雇用の場の確保、子育て支援など市民意識が多様化する中で、まちづくりの方向性をそれに対応できるようにシフトする必要があると考えています。 |
| 2 | パプコメ | I. 総合振興計画について | 策定の趣旨 | 2 | P3の写真は、夕日ではなく元気がでる写真にしてほしい。 | 計画全体について、写真等の変更、追加を行います。 |
| 3 | パプコメ | I. 総合振興計画について | 策定の趣旨 | 3 | 出雲の国作りの意味を策定の趣旨の中で記述しておく必要があるのではないか。この出雲の力を再結集し、みなぎらせ国作りの神話が新語として今に蘇る「平成の国作り」を進めます。 | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 4 | パプコメ | I. 総合振興計画について | 基本理念 | 1 | 「市民が主役のまちづくり」に関して、政策決定に参画することはあっても、政策実施を確実に行うための「市民参画」は具体的にはどうあるべきか。基本構想の中に盛り込んでよいのではないか。 | 施策・事業により参画のあり方は異なるため、個別に対処いたします。 |
| 5 | パプコメ | I. 総合振興計画について | 基本理念 | 2 | 「地域特性が光るまちづくり」に関して、出雲市の中心部にスポットライトされている印象が強く、周辺部、特に中山間地をかかえる地域には具体的な配慮が少ない感じがする。特に、多伎地域は「出雲市の西の玄関口」といわれて久しく、また交流人口においても出雲市全体の20%弱に当たる150万人が来訪する道の駅を中核とした地域があるにもかかわらず、ゾーンにおける位置付けが明確とは言い難い。現状あつての近未来図には欠くことのできない当地域住民の思いを盛り込まれることを強く要望する。 | この基本構想では、基本理念の一つに「地域特性が光るまちづくり」を定めており、多伎地域という旧市町の区域にとどまらず、様々な地域の特性を生かした施策事業の展開を図ることが重要な視点と考えています。 なお、「地域別のまちづくり像」の中で、多伎地域の道の駅キララ多伎周辺を観光都市拠点ゾーンに、佐田地域の一部を緑の交流ゾーンとして位置づけます。 |
| 6 | パプコメ | I. 総合振興計画について | 構成 | 1 | 今の出雲市の力量(財政力、財政事情等)や市民の思いやり力(P12 市民満足度調査結果 ニーズマップ)から、本計画の目標は10年間で達成できるのか。具体的に、時系列的に達成年度計画を提示してほしい。 | 時系列的な計画目標は、歳入と歳出を見積もる中で基本計画(前期)や実施計画(中期財政計画)において策定いたします。 |
| 7 | パプコメ | I. 総合振興計画について | 構成 | 2 | 市民に最も関心がある、実施計画を「毎年度見直しを行う」とは、どんなことなのか。計画はしたが、実施は別ということが財政事情により計画通り実施出来ないことはあり得るので、「毎年度見直しを行う」は削除してはどうか。計画達成に向けた意気込みが伝わってこない。 | 実施計画の計画期間は3年間としており、具体的な歳入を見通して策定します。各事業は、毎年度編成する予算に基づき実施しますが、各事業の進捗状況や国や県の予算状況などにより、実施計画の見直しを行う必要があります。なお、「毎年度見直しを行う」部分の記述は削除します。 |
| 8 | パプコメ | Ⅲ. 出雲市の地域特性 | | 1 | (2)世界に誇る出雲ブランド 6行目へ挿入 「津々浦々にお祀りする氏神様を崇敬することにより地域がまとまる、伝統の神事・行事を守り継承することが地域の衰退を防ぐ方策の一つである。」 (理由)時代によりあまり変化しないもの不変・不動のものが必要と思う。 | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 9 | パプコメ | Ⅲ. 出雲市の地域特性 | | 2 | (2)世界に誇る出雲ブランド 合併時において、大きな出雲で、出雲ブランドで世界にはばたこうとよく耳にしたが、そのような構想はないのか、出来ないのか。 | 市民自らが出雲の魅力を再発見し、出雲に住むことへの誇りや愛着を更に深め、市外からも憧れを抱かれるまちとなるよう、市民参画を得ながら、真の出雲ブランド化に向けた取り組みを引き続き進めます。 |
| 10 | パプコメ | V. 出雲市の主要な課題 | | 1 | 構想の主要課題は満足度調査を基本にして作成されたものと推察した。これからの10年間に何を本当に成し遂げるのか絞込めないものかと感じた。 仮に「雇用と教育と財政」の三本が達成解決できれば、すごく素晴らしいこと。そうなれば全国自治体から視察者が殺到して、一気に交流人口目標達成する。本素案では項目があまりに多すぎて逆に夢が持てないように感じた。表現上の整理の仕方の問題と考える。 | 基本構想は、市の長期的な総合計画であり、様々な分野の取り組みについて記していますが、ご指摘のように、特に重点的に取り組む分野を、4つの戦略プロジェクトに掲げて取り組みます。 |
| 11 | パプコメ | Ⅵ. 出雲市の将来像 | まちづくりの将来像 | 1 | 将来像は「美しい田園都市いずも」が良い。全国に、田園地域、出雲大社、工業団地、山村、海、湖など調和のとれた街は数少ない。大都市からの定住もあり、全国にアピールも必要である。 | ご意見は参考とさせていただきます。 |

| 意見番号 | 区分 | 項目 | 小項目 | 項目番号 | 意見内容 | 市の考え方 |
|------|------|-------------|---------------------------|------|--|---|
| 12 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | まちづくりの将来像 | 2 | 6本の柱を次の「安全・安心、産業・環境、文化・教育、観光・交流、保健・福祉」の5本の柱とされたい。 (理由)数字の6は陰数であるので、陽数の5が良い。 | 基本方針は、市の全ての施策・事業について6つに分類したものです。そのうち市をあげて取り組む施策・事業を4つの戦略プロジェクトとして組み立て直して、わかりやすい目標を掲げて重点的に施策・事業の展開を図るものです。 |
| 13 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | まちづくりの将来像 | 3 | 出雲の目指すべき街の姿として検討いただきたいこと 昨年ブータン国王夫妻が来日された際に、国王は「ブータンでの国づくりの目標はGNPではなく国民総幸福量(GNH)」と語られ、日本国民に国王夫妻の人柄とともに大きな感銘を与えた。経済的価値を追求してきた国民にはカルチャーショックでもあり、人間の幸せについて考えさせられた人も多かったように思う。出雲市総合振興計画に基づき関連事業を経済的、効率的、効果的かつ着実に推進することと並行して、工夫次第ではあまり金を掛けずに市民の知恵や各個人の持てる力(知識・経験・ノウハウ・人脈等の資源)を結集して、言わば市民の総力を挙げて「市民満足度日本一の街」にすることを考えてみてはどうか。 | 本計画の策定にあたり、市民満足度調査を実施し、その結果も踏まえ将来像実現への基本方針に生かしています。ご意見のとおり将来像の実現を図ることにより市民満足度の充実に図ります。 |
| 14 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 将来像実現への基本方針 | 1 | 6本の基本方針と戦略プロジェクトとはどのような関係になるのか。単純に基本方針の中に戦略プロジェクトを取り込んだ記述にしたほうが分かりやすいのではないかと。 | 基本方針では、市の施策を網羅していますが、これを進めるにあたり、市をあげて取り組む施策・事業を4つ戦略プロジェクトとして掲げ、特に重点的に取り組むものです。 |
| 15 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 将来像実現への基本方針 安全・安心都市の創造 | 1 | 安心して暮らせる安全な街 ①原発ゼロ社会 東日本大震災による福島第一原発の事故は、今なお多数の避難者が家にいつ帰れるか見込みのない状況にあり、役場も仮移転しており行政も十分機能することができず、このまま5年10年と続くようなことがあれば、それこそ地域社会が成り立っていかなくなるのが懸念される。出雲市も大半の地域が島根原発から10Km～30Km圏内にあり、ひとたび原発事故が発生すれば、市民生活が根底から覆されるような深刻な事態になることが予想される。子や孫そして未来永劫に安心して暮らせる安全な街として将来世代に引き継ぐことが、現代を生きる我々市民の果たすべき役割・責任ではないかと思う。原発立地県として地元から原発に依存しない社会を目指すことを宣言し、国を挙げた再生可能エネルギー等の技術開発とともに省エネ・節電に対する市民の一層の意識改革を図ることが重要に思う。 ②犯罪が日本一少ない街 女性、子供、お年寄りが犯罪に巻き込まれない安心して暮らせる街を実現するために、現状や課題が十分市民に周知されているのか。少年犯罪でも万引きなどは犯罪としての意識が薄く比較的軽い気持ちで行われていることもあるかもしれない。何が犯罪の抑止力になるかは難しいことと思うが、学校教育、家庭教育、地域の取り組み、広報等のあり方など市民一人ひとりが考えるきっかけづくりについて官民協働で取り組むことが必要のように思う。 ③いじめのない日本一子供たちの笑顔あふれる街 子供のいじめによる悲惨な事件が全国的に繰り返されているが、市の目指すべき目標として子供が安心して行くことができる学校であってほしいと思う。 ④孤独死が日本一少ない街 急速な高齢化により今後ますます独居老人世帯が増加することが予想されるが、人生の最後を誰に看取られることもなく孤独に死を迎えることがないようにセーフティネットを構築することが急務のように思う。 | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 16 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 将来像実現への基本方針 産業・観光都市の創造 | 1 | 産業の振興だけでも大変な仕事である。森林、林業の振興、産業の振興と雇用確保、地域の活性化対策に重点的に取り組んでほしい。 | 産業振興は本市の重要課題の一つであり、戦略プロジェクトの一つとして、雇用創出2,000人プロジェクトに掲げ、重点的に取り組みます。 |
| 17 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 将来像実現への基本方針 産業・観光都市の創造 | 2 | 農業振興の基本スタンスについて 県内最大の算出額を誇る出雲市農業の更なる振興を図るためには、市農政としての厳しい現状認識と時代のうねりに対処し、かつ課題を克服する確かな方針、基本スタンスの下に施策展開することを、未来図の中にはっきり明示して頂きたい。現行の表現は、訴求力が脆弱であり、出雲市の特性と国の基幹である農業の10年先を明確に打ち出すことを望む。 | 農業などの産業振興は、本市の重要課題の一つであり、戦略プロジェクトの一つとして、雇用創出2,000人プロジェクトに掲げ、重点的に取り組みます。 |
| 18 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 将来像実現への基本方針 産業・観光都市の創造 | 3 | 観光振興について 出雲市総合振興計画素案の「産業・観光都市の創造」の中に、「温泉活用やホテル立地を促進し、滞在型観光の取り組みを進める」とあります。については、次の通りおたずねします。 1. ホテル立地の促進とは、どこを念頭に置いたものですか。 2. ホテル立地の促進とは、市がホテルを誘致するということですか。あるいは民間のホテル建設に補助金交付や市有地の無償貸与をするということでしょうか。 3. 市がそこまで支援することが妥当なんでしょうか。 4. 滞在型観光の取り組みを進めるとは、具体的にはどういうことが念頭にあるのでしょうか。 | 市としてホテル立地の促進に向けた支援策を打ち出すまでは言えないため、文言を修正します。なお、具体的な施策は、今後、基本計画(前期)や実施計画(中期財政計画)において策定いたします。 |
| 19 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 将来像実現への基本方針 交流拠点都市の創造 | 1 | 出雲河下港について、東アジアの交流拠点としての整備を期待している。河下港の発展には、北山からトンネルにより、山陰自動車道、長浜工業団地、斐川の工業団地と連結を図ることが大切であり、陸の整備により利活用を増やし、貿易の拠点港としての整備を進めるという必要性を強調しては如何か。 | 出雲河下港は本市の海の玄関口として、産業振興や交流人口の増大に寄与する交通拠点であり、ご指摘のような利活用を図るためには、更に静穏度を高める沖防波堤整備の早期完成が不可欠です。 |

| 意見番号 | 区分 | 項目 | 小項目 | 項目番号 | 意見内容 | 市の考え方 |
|------|------|-------------|---------------------------|------|--|--|
| 20 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 将来像実現への基本方策 交流拠点都市の創造 | 2 | 河下港の整備と交流人口 出雲大社は県内屈指の観光地でありながらも観光客の伸びも今ひとつである。近くには大型船が寄港可能な河下港があるが、隠岐への渡航手段は現在松江、境港からのフェリーのみで県中央部以西、即ち出雲から西の地域の人又は、この地に隠岐から訪れるのは相当の時間を要し不便である。こればかりか、せっかく隠岐を訪れた人も交通の便などを考慮すれば出雲から県西部に赴くには躊躇する人も大勢いると思う。河下港を再整備してフェリーの発着場等をつくり又大型クルーズ船(一般の旅客船でも良い)が発着(接岸)可能にして韓国との交流の拠点としても良いではないか。 そうする事によって広く県内外からも隠岐と共に山陰地方を訪れる人も相当多くなるし、不定期便としても韓国行きが可能であれば反面韓国からの来訪者も多くなると思う。 | ご指摘のとおり、出雲河下港は本市の海の玄関口として重要な拠点施設です。待望の沖防波堤の整備に島根県が着手したことから、湾内の静穏度が確保される見込みであり、本市としても港湾の一層の利活用に取り組みます。 |
| 21 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 将来像実現への基本方策 健康・福祉都市の創造 | 1 | 高齢者も現役世代も日本一健康でいきいきと暮らせる街 ①地域に金がまわる循環型地域経済システムの構築 元気な高齢者が経済活動等に活躍する生きがいと笑顔のあふれるまちづくり、例えば、地域の特性を生かした農産物の生産に高齢者が参画し、徳島のおばあちゃん達の「葉っぱビジネス」のようなスモールビジネス、「小遣い銭+アルファのかせぎ」ができる仕組みの創設 農産物生産(農地を所有していない人には遊休農地を活用する仕組みの創設)に限らず、一人ひとりのお年寄りが持っている力(能力・特技・ノウハウ)を引き出し、無理なくできる範囲での経済活動を行うことにより収入を得て、家計を助け、またその収入で地域での買い物等の消費行動により地域に金が落ち、その金がまた地域内で循環・再投資されるような好循環の地域経済システムを構築できないものか。出雲市内の比較的大型の商業施設は、スーパー、ホームセンター、飲食チェーン店など県外資本によるものが多く、確かに雇用が生まれ、従業員は賃金を得て生活が成り立つとともに地域での消費生活により需要が喚起されるが、県外資本であれば利益が地域に再投資されることは少なく、できるだけ地場産業が成り立つようにできないものかと思う。高齢者ができる範囲で生涯に渡り経済活動に従事できれば、高齢者自身の張り合い・生きがいの創出にもなり、健康にも好影響があり結果として医療費や介護福祉関係経費の抑制に繋がるのではないかとと思われる。また、身近に働く姿を子供たちに見せることにより、子供の職業観の醸成や夢の実現に対するヒントになるのではないかとと思われる。また、ボランティアに関心のあるリタイア世代や高齢者も少なくないように思う。実態はよくわからないが、県立中央病院でもボランティアと思われる方々が来院患者の案内や手助けなどの支援をされていると思う。リタイア世代や高齢者には現役時代に培った知識・経験等を生かし社会貢献したいと考えられている方も少なくないと思われるので、必ずしも無償ボランティアではなく、費用弁償やある程度の報酬を得て(この場合、最低賃金法や労働災害などの問題をクリアすることが必要と思われるが・・・)子育て支援や介護等社会福祉関連の支援などの社会貢献をしていただくことにより子育て世代、現役世代の負担軽減に役立つものと思われる。 ②男性の育児・家事参加・介護・地域活動への参画 リタイア世代や元気な高齢者が所謂「イクジイ」等として育児に参加したり、料理等の家事、介護、地域の環境美化・保全、安全パトロール、地域防災活動、特技等を生かした学校教育や社会教育活動への支援等に積極的に参加することができるような仕掛けづくり 特定の限られた人材ではなく、できるだけ多くの高齢者一人ひとりが子育て支援、家事、地域活動等に参加することにより社会や家庭で役立つことを実感できるような仕組みができれば、女性や現役世代の負担が軽減できるとともに全国にもアピールできる魅力に満ちた地域にすることができるのではないかと考える。 「地域間競争」の時代にあって、「地域に自信と誇りを持つ若者を増やす」ことにもなり、「定住促進」や「Uターン・Iターンを増やす」ことにも繋がるような気がする。そのためには、キーパーソンが存在と決め細やかな「クチコミ」等の確実で効果的な情報提供・伝達により、一人ひとりの市民が課題や情報を共有することができる仕組みなどが不可欠のように思う。 | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 22 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 行政改革の推進 | 1 | 最大かつ喫緊の課題は、行財政改革である。述べられている諸々のプロジェクトも財源不足により画餅に帰すことになりはしないか心配である。もっと踏み込んで、たとえ市民の痛みを伴い、新たな負担を求めても改革スピードを上げなければならない。市民に対し財政の深刻さを理解させる努力と、市議会定数の削減、市職員の削減、給与カットを含めて聖域なき財政改革が必要である。 | ご指摘の通り、行財政改革なくしては本市の様々な施策・事業の展開を図ることは困難と考えており、市民の理解を深めながら、様々な行財政改革に努める考えです。 |
| 23 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 行政改革の推進 | 2 | 「斐川町の合併により、公債費は更に増加し、25年度にピークを迎え、その後も高止まりの状況が続く」……「斐川町との合併後において……、今後更に悪化していくことが予測されます。」とあるが、斐川町の合併により財政悪化するような書き方はすべきではない。財政悪化は、出雲市政の根本問題があるのではないか。 | 斐川町との合併により公債費の総額は増加しましたが、ご指摘のとおり誤解を生じる部分がありましたので、修正します。 |
| 24 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 行政改革の推進 | 3 | 今少しページを増やして現状と将来見通しを説明してほしい。「金がないなら知恵を出せ」とはよく使われるフレーズではあるが、正面から向き合っ て財政再建を市民が共に取り組むことこそ「市民が主役のまちづくり」につながるように考える。 | ご指摘の現状については、現在策定中の(仮称)出雲市財政白書などでお示しする予定です。 |
| 25 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 行政改革の推進 | 4 | 起債残高が多く県内8市でも財政状況は最悪であり、今後、合併特例交付金の減額や景気低迷による地方交付税や市税収入の漸減も想定されることから、徹底的な行財政改革の断行による持続可能な財政運営の必要性は誰が考えても自明のことであり、その実現を図る努力を最大限行う必要があると思う。 身の丈に合った財政運営を行うとともに、行政主導に頼るばかりではなく金の掛からない事業展開、NPOや市民ボランティアを含めた民間の自律的な活動による所謂「オール出雲」で市民と一体となった、一人ひとりの市民が持つ潜在的な力を結集した「まちづくり」が必要ではないかと思う。 | 基本構想では、厳しい本市の財政状況を踏まえ、持続可能な財政運営をめざした行財政改革を推進するとともに、「市民が主役のまちづくり」や「自立するまちづくり」を基本理念に掲げたまちづくりを推進することとしています。 |
| 26 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 平成33年の目標(人口・交流人口) | 1 | 人口17万人の維持は、社会動向・趨勢からどう見てもありえない数字であり、むしろ、人口減少社会における地域間格差増大を防ぐ今後の出雲づくり計画が良いように思う。出雲市は、一部のゾーンを除いて大方の地域がかなり減少することが現状から判断できる。基本的には人口減少社会を受け入れた計画を策定すべきではないか。 | この基本構想では、日本全体で進み始めた人口減少を本市でも初めて受け入れる基本構想となります。掲げた人口17万人の維持には、様々な施策・事業において更なる努力が必要と考えています。 |

| 意見番号 | 区分 | 項目 | 小項目 | 項目番号 | 意見内容 | 市の考え方 |
|------|------|-------------|-------------------|------|--|--|
| 27 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 平成33年の目標〈人口・交流人口〉 | 2 | 人口17万人の10年後の地域毎の予想ができていないか。 | 地域毎の人口予測は行っていませんが、維持が困難になる集落が更に増加することが予想されており、その対策を具体的に講じる必要があります。 |
| 28 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 平成33年の目標〈人口・交流人口〉 | 3 | 全国的に少子高齢化等により人口減少が進む中で出雲市も例外なく全国ベースの人口減が心配される。10年後、人口17万人目標は地域あげての中山間地対策と産業振興が必要である。子供対策、就業支援対策等に今まで以上の抜本的取組みを望む。 | 基本構想に掲げる目標人口の達成は大変厳しい状況にあります。戦略プロジェクトに掲げる各施策の推進によって取り組む考えです。 |
| 29 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 土地利用計画の基本指針 | 1 | 遙堪地域について、土地利用のスプロール化の防止や出雲市の均衡ある発展、されには当地域が明日に向かって飛躍する上から、未来図の中に田園緑地としてゾーニングしてある当地域を、住宅地に連なる一部分について周辺市街地として取扱い、市の土地利用計画の中に位置づけることをできないか。その実現性と地元として条件整備すべき点について、是非回答をお願いしたい。 なお、このことは、市民フォーラム、まちづくり懇談会等で従前から住民意見要望として出て来ている案件であることを、申し添える。 | 基本構想における土地利用の基本指針では、大社地域の観光都市拠点を都市計画用途区域とし、その周辺の宅地化が進む地域の一部を周辺市街地としています。遙堪地域もこれに準ずる地域ではありませんが、一方では田園環境の保全も重要なまちづくりの視点であることから、今後の状況の変化を踏まえて検討します。 |
| 30 | パブコメ | VI. 出雲市の将来像 | 土地利用計画の基本指針 | 2 | 周辺の田園緑地、山間緑地に住む者にとっては全く、夢がない。夢でいいから今少し書き込んでほしい。 | 土地利用の基本指針における田園緑地や山間緑地は、それぞれ重要な機能、役割を持っており、それぞれの地域の特性を生かしたまちづくりを推進することが、出雲市全体の発展につながるものと考えます。 |
| 31 | パブコメ | 戦略プロジェクト | 雇用創出2,000人プロジェクト | 1 | 目標数値に掲げることはよいが、目標数値の2,000人は、何らかの根拠等に基づく数値か。また、新規雇用創出は、正規雇用の数値なのか、非正規雇用も含む数値か。 | 目標数値は、近年の実績等を踏まえ、新規正規雇用について2,000人をめざし、様々な産業分野において努力する考えです。 |
| 32 | パブコメ | 戦略プロジェクト | 雇用創出2,000人プロジェクト | 2 | かつての賑わいを再生・活性化させたいとの思いは市民意識である。しかし、背景や現実をデータ等から理解し、将来予測とあるよう姿を広く市民に啓発するとともに、地元関係者等の再生・活性化への意識改革をすることが必要と考える。 商工業の振興は出雲市発展に不可欠である。具体的に、「どの場所を中心市街地」として活性化あるいは再生させたいと、明確にしたほうが良い。昔が中心市街地であったから、今後も中心市街地であるべきとの思い込みは、現実とはかなり乖離している。人の流れや社会の流れとともに町も動き、変化していく。この流れを急変させ、かつての賑わいの場所を活性化させたいという思い込みは、これまでの長い年月の取り組み過程と、住民気力等総合的にみても、再生・活性化には多様かつ相当なエネルギーが必要だと思う。 今市町の旧商店街を再生するという思いが、地元も地権者も強く、しかも気概が備わるなら、今市町のJR出雲市駅を中心としたゾーンを中心市街地と位置づけられるべきである。加えて、中心商店街活性化構想策定事業が数年前から着手されているにもかかわらず、一向に策定しようとなし、むしろ意欲が窺えない現実を打破し、早急に策定実現への体制再構築が必要である。本計画の内容はその策定事業とリンクし、10年間に実現させるという強い気力が求められる。 | ご指摘の通り、商工業の振興や中心市街地の活性化は、本市の発展に不可欠であり、市民や事業者・団体と共に取り組む必要があります。 |
| 33 | パブコメ | 戦略プロジェクト | 雇用創出2,000人プロジェクト | 3 | 商業振興について 出雲市総合振興計画素案の「商工振興」の中に、「中心市街地」をはじめ既存の商業集積地においては、空き店舗対策、商業環境整備、イベント開催支援等により、賑わい、交流の場を再生します。」とありますが、このような従来やられていた対策が、今後も有効だというのは認識を疑います。 中心市街地活性化計画が策定できない現状をしっかりと受け止めなければなりません。平成26年度にはイオン出雲店が現在の2.4倍の店舗面積を増大しオープンします。 中小商業の振興のあり方を根本的に考え直さなければどうにもならないと考えますが、どうなのでしょう。 | 商業振興については、現状の取り組みを大きく見直すという議論にはなっていませんが、引き続き関係団体等と検討すべきと考えています。 |
| 34 | パブコメ | 戦略プロジェクト | 定住人口キープ17万人プロジェクト | 1 | 人口維持をめざすことは大変大きな意味をもつ。人口維持には、特に①若者の定住対策②子育て支援(安心して子どもを産み育てられる環境を整える)が不可欠だと考えるが、これに対応する政策が弱い。今までと同じでは人口維持は困難である。 | 定住人口の維持は、このプロジェクトのみならず、本市の総合力を結集しなければできない課題と認識し、全市民を挙げて取り組むことが求められています。 |
| 35 | パブコメ | 戦略プロジェクト | 定住人口キープ17万人プロジェクト | 2 | 37ページの定住人口17万人プロジェクト「市民活動の支援」の中で「出雲市総合ボランティアセンターを中心に、出雲市全域で広範な・・・」というくだりがあるが、「広範」で市民にとって分かりにくいので、具体的に表記すべきである。 例えば「また、出雲市総合ボランティアセンターを中心に、出雲市全域で「地域・まちづくり」をはじめ「青少年育成」「国際交流・協力」「福祉・保健・医療」「自然・環境」「文化・伝承」「産業・観光」「スポーツ・レクリエーション」「情報・その他」など広範なボランティア活動の推進・意識啓発に取り組む・・・」 この計画書の中にも様々な分野でボランティアという言葉が使われているが、市民にはまだ「ボランティア=福祉」と受け止められていると思われる。市民にとって分かりやすい表記をお願いする。 | 「広範なボランティア活動とは、個人やグループ、団体などが行う福祉、教育、文化、芸術、スポーツ、環境、国際協力、まちづくり、人権など幅広い市民活動のこと。」と注記を加えます。 |

| 意見番号 | 区分 | 項目 | 小項目 | 項目番号 | 意見内容 | 市の考え方 |
|------|------|------------|-------------------|------|---|--|
| 36 | パブコメ | 戦略プロジェクト | 交流人口1,000万人プロジェクト | 1 | <p>魅力の創出と発信</p> <p>①出雲の代表的な風景・景観の選定・整備 あまりにも身近であるがために地域の魅力に気づかなかつたり、また魅力の度合いを低く見積もる市民も少なくないように思う。それぞれの市民が日頃感じている「出雲の魅力」、例えば、気に入った景色・景観を募り、観光客にも訴求力のある出雲の代表的な風景・景観スポットを選定・整備し、所謂「出雲十景」、「出雲三十六景」などを選定して市民にふるさとの魅力を再認識していただくとともに全国に出雲の魅力をアピールすることも必要に思う。</p> <p>②既存資源のワンランクアップ 現役世代が毎日取り組んでいる仕事に磨きをかけ、自信と誇りを持って「いい仕事をしている姿」を市内外にアピールできるような仕掛けづくりも必要ではないかと思う。例えば、飲食を例に挙げれば、「日本一おいしいカツ丼の店」、「日本一うまいそばや」、「味に絶対の自信がある郷土料理の店」など自分の仕事に自信と誇りを持って取り組むとともに、互いに切磋琢磨して高め合う地域であることをアピールすることができないか。キーパーソンの活用と人材育成などの仕組みづくりで「金をあまり掛けなくても、いつでもどこでもできること」から始めることが大事なような気がする。</p> <p>③出雲平野を一望できるスポットの整備 私の住む斐川町には「仏経山」、「高瀬山」、「大黒山」の「斐川三山」と呼ばれる山々や「出西三本松公園」など出雲平野を一望できる場所がある。どこも比較的短時間で登ることができ、例えば「大黒山」の頂上からは斐川平野、出雲平野、宍道湖そして遠くは日本海も望まれる景色はすばらしく、古代の出雲やふるさとの未来に思いを馳せるには格好の場所であり、30分ほどで気軽に簡単に登れるなど「斐川三山」の中では最も登り易く、町民の皆さんにも身近にこんないい所があることに気づかれていない人も少なくないように思う。斐川三山は子供でも比較的登り易く、登るたびに旧出雲市内の幼稚園・保育園の子供たちが登っているのを見かける。ふるさとの将来を担う子供たちが出雲平野を一望し何を感じるのか想像することも楽しいことである。大黒山の登山道の入り口付近には竹林があるが、私は京都の嵯峨野などの竹林が好きなので、この大黒山登山道脇の竹林ももう少し手入れができないものかと思う。登山道の整備とともに美しい竹林があれば、格好のリフレッシュゾーンになるとともに市外の人にも出雲の魅力として訴求力のあるスポットになるような気がする。出雲市内には、北山山系など斐川三山以外にも出雲平野を一望できる場所があるが、市民が気軽に登れて古代出雲やふるさとの未来に思いを馳せることができるスポットを整備すれば、一層ふるさと出雲への愛着と誇りが醸成されるような気がする。観光地として全国にアピールするためにも、まず、出雲市民が心から出雲の風景や観光スポットに魅力を感じる必要があると思う。</p> <p>④湯の川温泉について 湯の川温泉は泉質から色白美肌効果があるといわれており、「日本三美人の湯」の1つとして知られている。 出雲大社の表参道の整備などにより県外からの観光客の増加が期待されるが、市内の温泉や旅館・ホテルに宿泊する人は必ずしも多くないような状況ではないかと思う。「美人の湯」の説明としては、温泉旅館のHPでも出雲国風土記の「八上姫」伝説や温泉の泉質(低張性弱アルカリ性冷鉱泉で、保湿によりメタケイ酸を含むのでお肌がツルツルすべすべになる)が記載されているが、「美人の湯」を広く知ってもらうためにも訴求力のある説明とPRにもう一工夫できないものかと思う。物語性のある「八上姫」伝説とともに、色白美肌効果やツルツルすべすべ肌の効果を裏付ける泉質や温泉成分等の科学的根拠についてももう少し説明できないものか？また、湯の川温泉に関する石碑や説明板の設置についても、そのデザインや材質にも十分配慮してもう少し増やしてもいいように思う。旅の魅力は人それぞれと思うが、自然景観、歴史文化遺産、そして料理、温泉、宿泊施設等の清潔感、おもてなしの心配りなど多様であり単純ではないが、市民の意見を募るなど知恵とアイデアで魅力のアップに努めれば、出雲の落ち着いた味のある温泉としていずれ効果がでて集客に繋がるものと思う。熊本の黒川温泉のように寂れた温泉がキーパーソンの存在と温泉街の皆さんの熱意とアイデアで見事に蘇り、今ではアジアなどの海外からのお客さんも増えている事例もある。</p> <p>⑤全国規模の大会の開催 10月に毎年開催される全国選抜大学駅伝はテレビでナマ中継され全国的に注目される大会に成長したが、規模や注目度は小さくても全国規模の大会を出雲で開催することは、出雲の知名度の向上や観光客の誘致に繋がるものと思う。全国から神々が集まれる神在月の出雲で、例えば、出雲アマ囲碁・将棋名人戦、出雲アマ女流囲碁・将棋名人戦を開催し、全国の囲碁・将棋愛好者に参加を呼びかけてはどうか。囲碁・将棋を通じた交流による囲碁・将棋愛好者の裾野の拡大と棋力の向上を図るとともに、出雲の自然や人びとのふれあいの中から元気や癒し、そして出雲への親しみを実感してもらう機会にもなるように思う。ちょうど里見香奈さんが女流将棋4冠を達成されたことでもあり、PR次第ではインパクトのある大会になるのではという気もする。出雲式庭園の整備された出雲文化伝承館や斐川原鹿の旧豪農屋敷は出雲の貴重な文化遺産であり、ここを会場とし出雲の伝統文化に触れ出雲の良さ・魅力を実感してもらうことができれば、長期的な視点に立った観光振興にも繋がるように思う。</p> <p>⑥出雲の花木・樹木について 斐川公園には樹高が10メートルぐらいの大きな「ハクモクレン」が植えられている。サクラとツツジは町民の皆さんにはよく知られていると思うが、ハクモクレンには開花時期も含めて馴染みのない方もあると思われ、これらが斐川公園に植えられていることを知らない人も少なくないように気がする。出雲市内には市民に知られていない四季折々に咲く花木や樹木で、市外の他の地域にはない珍しいものや特別に大きな樹木などがあるのではないかと思う。それらを調査のうえ取りまとめ、市民に周知することにより、出雲の魅力がまた一つ増えることになるような気がする。市民が花の咲く時期等を楽しむとともに市外から訪れる人を増やすことにも繋がるように思う。</p> | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 37 | パブコメ | 地域別のまちづくり像 | 地域別のまちづくり像 | 1 | <p>(1)観光都市拠点ゾーンには、鶴鷺地区を含めること。(理由)鶴鷺には良い街並み・伝統行事等があり、近年活性化している隠れたスポットです。</p> <p>(2)水と緑を生かした地域力増進ゾーン⇒山と緑を・・・に変更。(理由)南部地域の山は森林が豊富で利用価値が多大です。よって、漠然とした水より山と明記することにより重要性が再認識される。</p> <p>(3)6つのゾーンより、海と山と緑に抱かれた都市・拠点ゾーンとのイメージが良いように思います。</p> | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 38 | パブコメ | その他 | 全体 | 1 | 10年間に実現可能な計画が望まれる。夢物語でもなく、とにかく可能な限り実現する、実現させる計画にしてほしい。さらに、できれば将来像実現が時系列で表記されることを望む。 | 時系列的な計画目標は、歳入と歳出を見積もる中で基本計画(前期)や実施計画(中期財政計画)において策定いたします。 |
| 39 | パブコメ | その他 | 全体 | 2 | 計画の財源は具体的にどのように考えているのか。 | 時系列的な計画目標は、歳入と歳出を見積もる中で基本計画(前期)や実施計画(中期財政計画)において策定いたします。 |

| 意見 番号 | 区分 | 項目 | 小項目 | 項目 番号 | 意見内容 | 市の考え方 |
|----------|------|-----|-----|----------|---|---|
| 40 | パブコメ | その他 | 全体 | 3 | 計画達成の責任者は誰か。 | 市長です。 |
| 41 | パブコメ | その他 | 全体 | 4 | 「縁結び」をキーワードにまちづくりを進めるべきである。 | まちづくりの将来像を、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲」と定め、その実現をめざす基本構想としています。 |
| 42 | パブコメ | その他 | 全体 | 5 | 基本構想について 古来より築いていた歴史的な特徴である「陰に隠れた社会文化」の地域特性を前面に打ち出すことが必要である。今、都市社会は様々な問題が生じ疲れきっている。都会志向から脱皮し、このような考えを機軸に都市構想を描くのも一考であると思う。 『癒しが堪能できる都市(あるいは「移住したくなるような都市)』 地域が何の価値をもって、住民としてありたいかを問う必要がある。誇れるものを抽出して描く必要がある。例えば、出雲神話を取り入れた観光振興や出雲大社の宗教性を核にして、精神が癒され落ち着きのある地域都市をめざす。 ・癒しが堪能できるランドデザインを構築(出雲神話) ・住環境づくり、景観づくり、生活づくり(昭和50年代の生活) ・「死生学」や「介護学」の学習 高齢化の先進地として、高齢者として生きることについて考える学習塾があっいい。 | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 43 | パブコメ | その他 | 全体 | 6 | 交通の地理的条件を活用した自立する出雲の構築 『貿易の推進(表社会と鎖国し独自路線を執る)』 市役所職員、農協職員、商工(農・工・商)の担当職員は、地域特産物、製品等の販売営業マンとして、国内、国外へ出向き、営業活動に専念する。最低でも1品/年の商談を得るようにノルマを与えて展開する。 『出雲起業家づくり(格安の賃貸工場、貸事務所を提供)』人口流出の逆 企業誘致の働きかけも重要であるが、全国各地の起業したい若者に来て頂いて、期限付きの格安の貸工場、貸事務所、家賃等を援助して、出雲からは巣立ってほしい。そうすれば、新しい産業は人材が生まれ、雇用も生まれる。(起業が成功すれば出雲に留まる必要はない) 空き施設や民家等を提供する。 『農業で将来安心プラン(耕作遊休地利用)』 定年者を対象にした取組 都会地の高齢者を対象に定年後の生活「安定・安心」(二住居)の場を提供することが考えられる。 | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 44 | パブコメ | その他 | 全体 | 7 | 市財政が困窮する中、総花的、希望的な基本計画にしてほしくない。具体性が乏しい。絵に描いた餅とならないように、前期5年で具体的にどのような事業を実施していくのかを示した計画にしてほしい。 | 時系列的な計画目標は、歳入と歳出を見積もる中で基本計画(前期)や実施計画(中期財政計画)において策定いたします。 |
| 45 | パブコメ | その他 | 全体 | 8 | 基本計画や実施計画の達成経過は、市民にどのように周知されるのか。途中経過を公表することを明記しては如何か。 | 達成経過の公表、周知方法については、今後検討します。 |
| 46 | パブコメ | その他 | 全体 | 9 | この基本の考え方にに基づき、具体的な施策を期待する。 人口の17万人の維持(2030年)は市にとって重要事項であり、そのための施策を特に求める。 | 具体的な施策は基本計画(前期)や実施計画(中期財政計画)において策定いたします。 |
| 47 | パブコメ | その他 | 全体 | 10 | 地区、町内、自治会加入率が年々低下している。高齢化が進んでいく中で、近隣世帯の互助の気持ちが大切である。絆社会をつくるには自治会加入率を上げることが必要である。地区でも促進活動を続けているが、目に見えた効果が出ていない。市の方策を提示して欲しい。 | 基本方策の「人材育成都市の創造」に、「町内会、自治会への加入促進の支援などコミュニティ活動の一層の充実を図る」ことを記載していますが、具体的な方策は、個別に実施するものとします。 |
| 48 | パブコメ | その他 | 全体 | 11 | 現状認識に足りない部分がある。 人口減少は国の施策に主な原因がある。しかし、日本は資源輸入国と前提条件をつけず、新資源開発国に努力すべき。 ものづくりは内外価格差等経営環境の悪化により、空洞化が叫ばれて20年以上経過し現実に働き場所の海外移転で国内に労働力を吸収する企業・事業者・新規需要の場が大きく減少している。これに併せて価格の安いものの競争により、国内産業も軒並み疲弊し、特に一次・二次産業に閉鎖が進み、山間地・海岸等が過疎化現象に歯車がかかっている。従って、「産地」が減少し働き場所が人口密集地に集約されている。従って、生活圏も働く場所に近い、都会でなくても人口集約地域に求める傾向が強い。一方で旧地域での生活習慣は代表的なものでも、種々な地域会費負担・労働奉仕作業等を嫌う若者たちは簡単に地域・家族を置いて都市部に移転をする。これが主因とすれば、出雲地域でも人口減少は避けられない。辺地や田舎にも公共投資を発注し、自前の工事を工夫し、奨励すべきだ。 | 本市においても、経済のグローバル化の進展の影響が避けられない状況にありますが、戦略プロジェクトの一つとして「雇用創出2,000人プロジェクト」に掲げる、本市のもつ様々な地域資源を最大限に活用する施策にしっかり取り組むことが重要と考えます。 |

| 意見番号 | 区分 | 項目 | 小項目 | 項目番号 | 意見内容 | 市の考え方 |
|------|------|-----|-----|------|---|-------------------|
| 49 | パブコメ | その他 | 全体 | 12 | <p>出雲未来図に向けて ○出雲未来図は「ひとづくり」「資源づくり」「地域づくり」地球はひとつ、資源は日本海に眠る「メタンハイドレート」「シェールガス」「深層水と海洋開発」。山間部で魚の養殖等及び六次産業化、又、ものづくりは研究開発型の人材確保と情報発信・受信能力・解析能力・インターネット活用のシクミづくり(範囲は世界規模)が必要である。 ○地域興しは持っている資源の有効活用(高齢化)(健康づくり)(文化・歴史探訪)(恵まれた自然環境)を生かしたまちづくりが望まれる。「住みやすい出雲」PR。 狙いは、ハイレベルな高齢者向け「リゾート特区」をつくる。 条件、縁結び空港の滑走路改修(2500m×幅300m、自働の離着陸が可能)で外国航空の着陸可。温泉付き古民家風住宅の貸与。地域住民・あるいは様々な活動のふれあいの場所提供。東京・大阪等への文化活動等への参加及び外出は看護師が付き添いし出掛ける。その他自由度の高さを保証。ただし、原則、「有償」とし「サービス内容は出雲市の規定に沿って支援制度をつくり、国の制度活用、それ以上は有償とする」。リゾート地域、強いて掲げれば「空港・いりすの丘・大黒山の麓・医大までの周辺」 ○先進的なものづくり 「出雲未来図を語る会」(仮称)。ものづくりの関係から(先進的な未来志向)でものづくり事業を起こしをめざす人に支援を行う活動。「産・官・学の活動連携」を含む。</p> | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 50 | パブコメ | その他 | 全体 | 13 | <p>斬新さもなく、どっかで見聞きした文言の羅列で期待感全く湧いてこない。むしろ失望感が大きい。 斐川町との合併で、延命措置がとられたが出雲市の財政破綻の足音は、遠ざかるどころか近づいてはいないか。 安易な、行政の効率化・スリム化は住民サービスの低下をもたらすだけで、将来地域の衰退と都市機能の低下をもたらすだけと思う。 市街地(市の中心部)があって、周辺部の活性化がもたらされる錯覚に陥りがちですが、周辺地域が活性化してこそ中心部も活性化するものと思う。したがって、市本庁舎内を大胆にスリム化して、支所・コミュニティセンターの方を充実すべきと考えます。地域住民と顔の見える行政こそが本来の姿と思います。 支庁舎をどこかに売却するぐらいの発想を持ってほしい。</p> | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 51 | パブコメ | その他 | 全体 | 14 | <p>住んでよし、訪れたい街</p> <p>①日本一きれいな街 ○花・緑あふれる街 ヨーロッパの街中では道行く人に楽しんでもらうため住宅の窓辺を花で飾る家庭も多く見かけられるが、日本でも近年は家庭で花や緑を楽しむだけではなく、オープンガーデンとして道行く人や見知らぬ人に積極的に庭を開放して楽しんでもらう家が増えている。もっとオープンガーデンや沿道に花や緑が増えれば街の魅力が増すとともに、街全体が魅力あるりっぱな観光資源にもなると思う。市内にも花の愛好家によるボランティア活動として、現役時代に培った経験を生かして花の育て方の講習会や花の苗を廉価で共同購入するなどの活動をされている方もおられる。あまり肩肘を張らず各家庭でできる範囲で道行く人にも楽しんでいただけるような庭づくりがもっと普及すればと思う。</p> <p>○水のきれいな街 国内の観光地で何度も訪れたいような所謂リピーターを引き付ける魅力あるスポットはそんなにあるものではないような気もしている。個人的なことで申し訳ないが、私は水のきれいな場所に心惹かれる。例えば、上高地の梓川、信州の安曇野などの清流はそれだけで何度も訪れたいという気になる。水に関連した観光地では、柳川や保津川の川下り、長良川の鶺鴒、最後の清流四万十川、近くでは松江の堀川めぐりなど自然条件に恵まれた所や人為的に観光の魅力を創出した所など沢山あるが、出雲でも観光のキーワードとして水を考えることも必要ではないかと思う。斐伊川は清流日本一には無理か？市内を流れる高瀬川その他の河川の親水性を高め透明度をワンランクアップすることができれば、市民の河川に対する愛着も増し、水のきれいな街として魅力ある観光資源になると思う。</p> <p>○空き缶、空き瓶・タバコの吸殻のポイ捨てのない街 毎朝、田園地帯を散歩しているが、空き缶のポイ捨てはかなりの数、時には袋ごとかなりの数の空き缶や空き瓶が捨てられているのを見かける。学校教育や家庭教育の問題でもあり、人の意識を変える効果的な方法はなかなか見つからないかも知れないが、空き缶等のポイ捨てのないきれいな街はそれだけでも観光的にも魅力のある街になるような気がする。シンガポールは罰金が高くゴミひとつ落ちていないとも聞かすが、観光地としては一つの魅力になっているように思う。</p> <p>○犬・猫の糞の落ちていない街 犬の糞が始末されていないこともしばしば見かける。また、猫は飼い猫でも野放し状態であることが多く、よその家の庭先で糞をすることも多く、その異臭に悩まされることが結構ある。空き缶等のポイ捨てと同様に、犬・猫の糞が落ちていない清潔な街は居住環境としても快適であり、真剣に魅力ある観光地としてのまちづくりを考えるならば重要な必要条件であると思う。</p> | ご意見は参考とさせていただきます。 |

| 意見番号 | 区分 | 項目 | 小項目 | 項目番号 | 意見内容 | 市の考え方 |
|------|------|-----|-----|------|---|-----------------------------------|
| 52 | パブコメ | その他 | 全体 | 15 | <p>①グローバル化への対応 韓国の李大統領の竹島上陸や尖閣諸島の国有化をきっかけに、韓国や中国との関係が極めて悪化している状況であり、所謂、「中国リスク」を避け「中国プラスワン」、「中国ワンオブゼム」の考え方などにより一層韓国や中国との距離を感じるような昨今であるが、「ピンチはチャンス」でもあり、この際、長期的な視点に立って出雲は韓国や中国との関係を強化する方向で取り組むことはできないかと思う。これに成功すれば、発展著しい東アジア、そしてアセアン、インド、ロシアなど距離的にも近く歴史的、文化的にも関係の深い地域との良好な関係を構築することにも繋がりが、観光や地域産品の輸出など地域経済の発展や文化的、人的交流の促進など将来を見据えた戦略的な取り組みが必要な気がする。例えば、地域の将来を担う子供や若者たちが、韓国や中国の子供や若者と対等に議論ができ、違いを認識しながらも真の友情を育むことができるようなたくましい人間に育つような教育の実践が必要に思う。植民地化や侵略の歴史など現代史を学び、その誤りをきちんと認識するとともに、領土に関する歴史的経緯や国際法上も日本固有の領土であることをきちんと認識し主張できることが大事と思う。意見の違いに目をそらすのではなく、きちんと議論できることが相手側の信用を得る近道と思う。また、市内に居住している韓国、中国、その他アジア諸国などの外国人との交流を積極的に図ることができる仕組みも考える必要があると思う。互いに触れ合い、語り合うことでしか理解は深まらないと思う。 東アジアとりわけ韓国、中国は最も近い、将来に渡って避けることのできない隣人であり、良好な関係づくりに努力することは出雲の将来に欠かせないことのように思う。</p> <p>②市民の潜在能力を引き出す一策 市民の「やる気」を引き出す意識啓発は行政だけでは限界があり、キーパーソンによるきめ細かな取り組みとともに、所謂「有名人」に弱い日本人の特性を考えれば、例えば、「古代史に関心のある方」、「出雲に魅力を感じている方」など県外の有名人を「出雲の魅力の語り部・PR活動ボランティア」に登録し、市民に講演会等で出雲の魅力の創出・ワンランクアップなどについて語っていただくとともに、「出雲の魅力の発信」に協力していただくことはできないものか。 東日本大震災の被災地では、功成り名を遂げた有名人の方々がボランティアとして現地を訪れ、被災された方々を励ますために様々な活動をされている。災害時だけでなく、出身地以外の地域であっても特定の地域に愛着を感じて応援する気持ちのある方は少なからずおられるのではないかと思う。 作家の永六輔さんは長年「出西窯」に愛着を持たれ、岩波新書の「職人」の中にも「出西窯」について書かれ、また、その他の雑誌などでも何度も「出西窯の魅力」を紹介されていると思う。 また、テレビの影響力は大きなものがあり、旅の番組に限らず様々な番組の中で、出雲が取り上げられるようテレビ局や市民それぞれの人脈等を通じて放送関係者等への積極的な働きかけが必要に思う。</p> | ご意見は参考とさせていただきます。 |
| 53 | パブコメ | その他 | 全体 | 16 | <p>今回の総合振興計画(案)は今後10年間の出雲市の目指すべき方向・目標が明確にされており、全体的によく纏められているという印象がする。 行政課題は広範で、どれをとっても必要性がないと考えることは難しく、優先度に応じて所謂「事業の仕分け」をすることは容易ではなく、「選択と集中」は言うは易く行うは難しで、この計画を実行するためには、いくらお金があっても足りないのではという感じもする。</p> | 行財政改革を一層推進する中で、この将来像実現に向けて取り組みます。 |
| 54 | パブコメ | その他 | 全体 | 17 | <p>少子高齢化、人口減少、経済のグローバル化による企業の海外展開など時代の急激な変化により、雇用や交流人口を増やして経済の活性化を図ることは容易ではなく、定住人口も含め現状維持することさえ相当困難が予想されるが、現実を直視して成長・拡大を過度に求めるのではなく、出雲の魅力を再発見するとともに現状をワンランクアップすることも必要ではないかと思う。</p> | ご指摘のとおりと考えます。 |